



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第109号

2013.2.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

もくじ

お知らせ

ー 2013 年度の観察会日程について

活動報告

ー 雪原のトレッキング

観察会案内

ー 早春のトレッキング

ー 2013 年度の観察会日程

お知らせ

● 2013 年度の観察会日程についてのお知らせ

2013 年度の観察会日程が決まりました。今年も盛りだくさんの内容で皆さまをお待ちしております。詳しくは裏面の観察会案内をご覧ください。

観 察 会 報 告

● 雪原のトレッキング

開催日時：2013年2月16日（土）10:00

講師：上野吉雄

雪が時折降っては止む天候の中、高原の自然館前に16名が集まりました。

今回は霧ヶ谷湿原に向かい、湿原内を回って、道路から戻るコースで、かんじきやスノーシューを履いて出発しました。先月の観察会では50センチほどあった積雪量はだいぶ減り、新雪が積もっても40センチほどで、冬の八幡を知る参加者の方も驚いていました。

前日から降り始めた雪で動物たちの足跡が消えないか不安でしたが、「この降り方なら動物の足跡が見られるでしょう」という講師の上野先生の言葉に期待をしながら観察会が始まりました。

出発をしてすぐにテンの足跡を見つけました。テンの足跡は道路の雪面から小さな建物に続いており、建物の壁には隙間から内部に入ろうとした爪あとがありました。テンは非常に身軽で、人の背丈よりも高い建物もかんたんに登っていくようで、他の建物にもテンが侵入しようとしたあとを見つけました。

耳を澄ますとレンジャクの声が聞こえました。レンジャクは寄生植物であるヤドリギの実を食べて、その糞から種を運んでいく習性があるそうです。説明を聞いてる中で実際に姿を見ることが出来ました。誰も踏み込んでいない雪道には至る所にテンやウサギの足跡があり、行動範囲の広さを感じさせてくれます。他にも足跡の近くには食跡もあり、実を食べた枝先はナイフで切ったように鋭くなっていました。

霧ヶ谷湿原に入ると、木道がどこにあるのか分からないくらい白く染まっており、皆さんおそろおそろと湿原を進んで行きます。

中腹にある川で、ユキクロカワゲラという昆虫や、カワモズクという藻類を水中で見つけました。カワゲラは、雪の上でも元気に歩き回り、参加者の皆さんを驚かせ、カワモズクは食べることができると聞きました。味は無味に近いようですが、食感はモズクによく似ているそうです。

少し広い場所まで歩くと、北海道とここ八幡

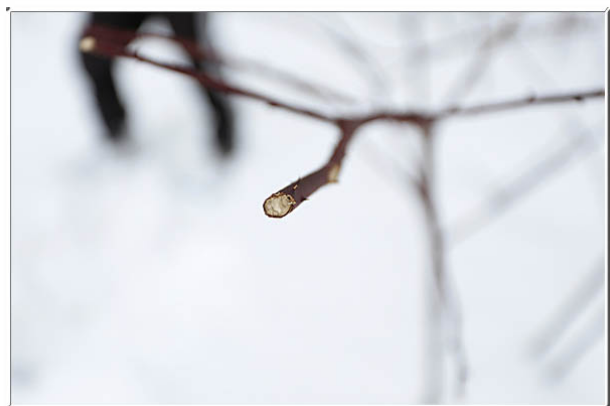
地区でしか確認されていないカラフトゴマフトビゲラの説明を聞きました。特殊な分布の仕方をしているという話に皆さん驚いていました。

説明が終わり、自然館前まで戻ります。戻り道では、枯れた木にキツツキの一種であるアカゲラがエサを求めて木を突いた跡を見つけたり、川の近くでは、カワゲラの姿を先ほどよりも多く発見することが出来ました。

今回は雪の状態があまり良くなく、ネズミなど動物の足跡や、ガガンボやトビムシなどの昆虫を見ることはできませんでしたが、上野先生の詳しい解説により、冬を生きる生き物の生態を垣間見ることができた楽しく充実した観察会となりました。 [はたもとやすひこ]



霧ヶ谷に向けて、車道を歩く。この時期は除雪がされていないので、歩行者専用。



ノウサギの食痕。クマイチゴを食べていた。



霧ヶ谷湿原に進む。雪は少ない。



高原の自然館前でまとめをして解散。



羽のあるカワゲラの仲間。



キツツキがつついた痕。冬でもエサが取れるので、キツツキは移動しない。

【みなさんの印象に残った物】

「テンのおしっこ, マーキング」「レンジャク」「ウサギがトゲのある植物を食べる」「あしあと(2)」「ユキクロカワゲラ 雪の上を歩くすがた(5)」「水せい生物」「時期ではないけれど、カラフトゴマフトビケラの話」「ウサギの足跡は後ろ足が前につくというもなるほどと思いました」「新雪の中の高原や湿原, 回りの山々の美しさを自分の足で歩いたこと」「雪の中を歩くカワゲラがなぜわざわざこの時期に出てくるのかが興味を持った」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「秋におとすれた湿原の冬の様子が見れてよかったです」「ありがとうございました(2)」「テンのあしあとがいっぱいあって楽しかった。けど, つかれた」「楽しかったです。雪上を歩いたのが久しぶりでした(3)」「新雪の上は歩きにくかった。今年は雪が少ない」「説明が専門的。良くも, 悪くも」「はじめてでしたが, とても楽しかったです！3月もまた参加したいです。最初の方ではカンジキが外れてご迷惑をおかけしました」「今まで雪の中の動植物に興味を持ったことはなかったですが, 今回を機会に勉強を一つずつして, 色々なものが見えるように, 発見できるようになりたいくなりました」「なかなか体験出来ないことで色々な足跡が見れてよかったです」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● 早春のトレッキング

開催日時：2013年3月24日（日）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット

定員数：30名

参加費：一般=300円

賛助会員=100円

正会員・中学生以下=無料

春はどこまで八幡高原に近づいてきていますでしょうか？雪が残るなか、いきものたちは活動を始めているのでしょうか？1月や2月の観察会では感じられなかった春のきざしをみんなで探しましょう。



● 2013年度の観察会日程

- 4月27日 山焼き後の雲月山植物観察会
- 29日 カスミサンショウウオの産卵調査
- 5月 6日 サクラソウの観察会
- 18日 大潰山の春植物観察会
- 19日 ブナ林の野鳥観察会
- 6月 9日 龍頭山の野鳥観察会
- 15日 モリアオガエル観察会
- 22日 昆虫観察会
- 23日 霧ヶ谷湿原の植生調査（夏）
- 未定 霧ヶ谷湿原夏の生き物観察会
- 7月15日 ブッポウソウの観察会
- 21日 夏休み親子観察会
- 28日 カワシンジュガイ探検隊
- 8月 3日 千町原 夏の保全活動
- 10日 可愛川の水生生物観察会
- 9月21日 霧ヶ谷湿原の植生調査（秋）
- 28日 サツキマスの産卵床作り
- 29日 深入山の植物観察会
- 未定 霧ヶ谷湿原秋の生き物観察会
- 10月5日 キノコ観察会
- 6日 サツキマス保全の試み
- 11月4日 紅葉・冬芽の観察会
- 10日 ゴギの産卵の観察会
- 17日 八幡高原の野鳥観察会
- 23日 千町原 秋の保全活動
- 12月1日 かんじき作り

2014年

- 1月18日 冬を生きる動物の生態
- 2月 9日 雪原のトレッキング
- 3月 8日 早春のトレッキング

※参加には事前申込が必要です。

※日程は変更になる場合がありますので

自然館ホームページにてご確認ください。

節分も終わり、暦の上では春になったとはいえ、まだまだ寒さはきびしく、朝は布団から這い出すのに苦労する日が続いています。日ごとに見れば昼間に春のような陽気が差し込んだり、雨が続いたり春を感じる日が増えてきてはいますが、それでも朝になれば道路は凍結し、雪が降る日もまだまだ続いています。ゆったりとした気持ちで山道を運転するのはまだ当分先の様です。（はたもと）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしています）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info